

「日々の理科」(第1969号) 2019, 11, 29

「北軽井沢の初雪」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

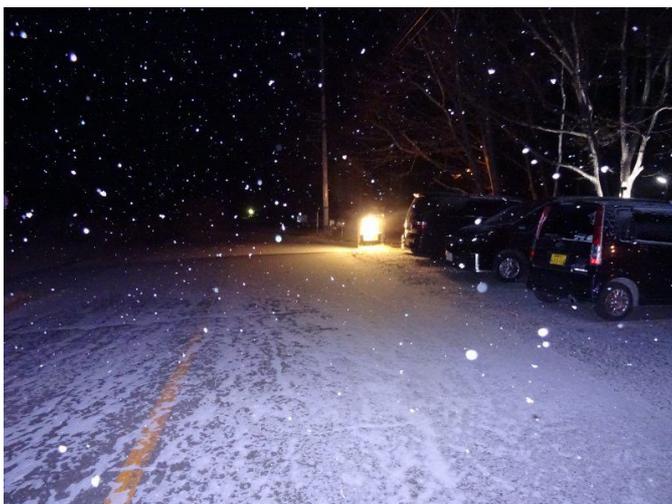
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

11月11日に浅間山の山頂部に雪が積もって「初冠雪」となった。しかし、その後も麓の北軽井沢(標高1100~1200m)では一向に雪が降らず、「冬枯れ」の景色のままだった。北軽井沢では、まだ紅葉の季節に初雪が来ることが多い。しかし今年は11月下旬になっても雪が降らなかった。



しかし11月29日の夜、ついに初雪になった。私は北軽井沢郊外(浅間牧場の近く)のレストランで夕食をとっていた。窓の外にチラチラ見えたので、外に出てみると、結構大粒の雪が降っていた。



雪はそれほど強くはなかった。気温も-1℃と、大して寒くなかった。それでも20分ほどで道にうっすらと雪が積もったのがわかるようになった。車のタイヤはスタッドレスなので心配ない。



積もった雪は厄介だが、舞い落ちる雪は美しい。雪の粒を写真に写すには、フラッシュをたくと良い。カメラに「後幕フラッシュ」という機能があれば、それが一番良い感じに写る。



北軽井沢交差点も、久しぶりに真っ白になった。左右に横切っている道は、国道146号線である。



雪が降ったので、クリスマス・ツリーを飾った。ストーブは「薪ストーブのように見える」石油ファンヒーターである。ああ、ついに冬になったなと思った。